

表1 事故件数の年度別推移

平成24年度  
(件)

	平成														24年度	
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度	
01.家庭用電気製品	630 ( 39.6%)	939 ( 44.4%)	738 ( 36.1%)	1172 ( 39.1%)	2377 ( 40.1%)	< 532> ( 48.6%)	2266 ( 49.9%)	< 660> ( 51.3%)	2010 ( 53.0%)	< 487> ( 46.3%)	2303 ( 55.1%)	< 479> ( 47.0%)	2308 ( 59.1%)	< 499> ( 48.0%)	1427 ( 46.2%)	< 539> ( 53.0%)
02.台所・食卓用品	24 ( 1.5%)	23 ( 1.1%)	22 ( 1.1%)	70 ( 2.3%)	116 ( 2.0%)	< 10> ( 0.9%)	137 ( 3.0%)	< 12> ( 0.9%)	158 ( 4.2%)	< 7> ( 0.7%)	79 ( 1.9%)	< 8> ( 0.8%)	78 ( 2.0%)	< 9> ( 0.9%)	177 ( 5.7%)	< 11> ( 1.1%)
03.燃焼器具	539 ( 33.9%)	565 ( 26.7%)	853 ( 41.8%)	1112 ( 37.0%)	1385 ( 23.3%)	< 334> ( 30.6%)	936 ( 20.6%)	< 403> ( 31.3%)	696 ( 18.4%)	< 356> ( 33.9%)	686 ( 16.4%)	< 320> ( 31.4%)	705 ( 18.1%)	< 321> ( 31.0%)	612 ( 19.8%)	< 271> ( 26.7%)
04.家具・住宅用品	64 ( 4.0%)	50 ( 2.4%)	72 ( 3.5%)	153 ( 5.1%)	279 ( 4.7%)	< 63> ( 5.8%)	328 ( 7.2%)	< 82> ( 6.4%)	214 ( 5.6%)	< 69> ( 6.6%)	399 ( 9.6%)	< 90> ( 8.8%)	304 ( 7.8%)	< 76> ( 7.3%)	242 ( 7.8%)	< 75> ( 7.4%)
05.乗物・乗物用品	154 ( 9.7%)	323 ( 15.3%)	183 ( 9.0%)	186 ( 6.2%)	153 ( 2.6%)	< 60> ( 5.5%)	167 ( 3.7%)	< 53> ( 4.1%)	164 ( 4.3%)	< 73> ( 6.9%)	241 ( 5.8%)	< 69> ( 6.8%)	168 ( 4.3%)	< 63> ( 6.1%)	101 ( 3.3%)	< 53> ( 5.2%)
06.身のまわり品	73 ( 4.6%)	98 ( 4.6%)	86 ( 4.2%)	220 ( 7.3%)	1252 ( 21.1%)	< 67> ( 6.1%)	418 ( 9.2%)	< 39> ( 3.0%)	229 ( 6.0%)	< 32> ( 3.0%)	198 ( 4.7%)	< 30> ( 2.9%)	199 ( 5.1%)	< 38> ( 3.7%)	413 ( 13.4%)	< 45> ( 4.4%)
07.保健衛生用品	19 ( 1.2%)	26 ( 1.2%)	17 ( 0.8%)	25 ( 0.8%)	119 ( 2.0%)	< 9> ( 0.8%)	29 ( 0.6%)	< 5> ( 0.4%)	120 ( 3.2%)	< 3> ( 0.3%)	59 ( 1.4%)	< 4> ( 0.4%)	20 ( 0.5%)	< 10> ( 1.0%)	23 ( 0.7%)	< 7> ( 0.7%)
08.レジャー用品	31 ( 1.9%)	42 ( 2.0%)	59 ( 2.9%)	29 ( 1.0%)	109 ( 1.8%)	< 13> ( 1.2%)	104 ( 2.3%)	< 17> ( 1.3%)	83 ( 2.2%)	< 16> ( 1.5%)	90 ( 2.2%)	< 14> ( 1.4%)	74 ( 1.9%)	< 18> ( 1.7%)	56 ( 1.8%)	< 8> ( 0.8%)
09.乳幼児用品	49 ( 3.1%)	45 ( 2.1%)	6 ( 0.3%)	21 ( 0.6%)	130 ( 2.2%)	< 4> ( 0.4%)	130 ( 2.9%)	< 12> ( 0.9%)	81 ( 2.1%)	< 6> ( 0.6%)	90 ( 2.2%)	< 5> ( 0.5%)	22 ( 0.6%)	< 2> ( 0.2%)	14 ( 0.5%)	< 4> ( 0.4%)
10.繊維製品	9 ( 0.5%)	4 ( 0.2%)	7 ( 0.3%)	20 ( 0.6%)	13 ( 0.1%)	< 1> ( 0.1%)	28 ( 0.6%)	< 5> ( 0.4%)	35 ( 1.0%)	< 2> ( 0.2%)	29 ( 0.7%)	< 0> ( 0.0%)	25 ( 0.6%)	< 1> ( 0.1%)	25 ( 0.8%)	< 3> ( 0.3%)
11.その他	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 0.1%)	< 0> ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	< 0> ( 0.0%)								
総計	1592 (100.0%)	2115 (100.0%)	2043 (100.0%)	3008 (100.0%)	5935 (100.0%)	<1,093> (100.0%)	4543 (100.0%)	<1,288> (100.0%)	3790 (100.0%)	<1,051> (100.0%)	4174 (100.0%)	<1,019> (100.0%)	3903 (100.0%)	<1,037> (100.0%)	3090 (100.0%)	<1,016> (100.0%)

(注) ( )内の数字は、各年度の通知件数に占める商品区分毎の割合を百分率で表したものである。

図1 事故件数の年度別推移

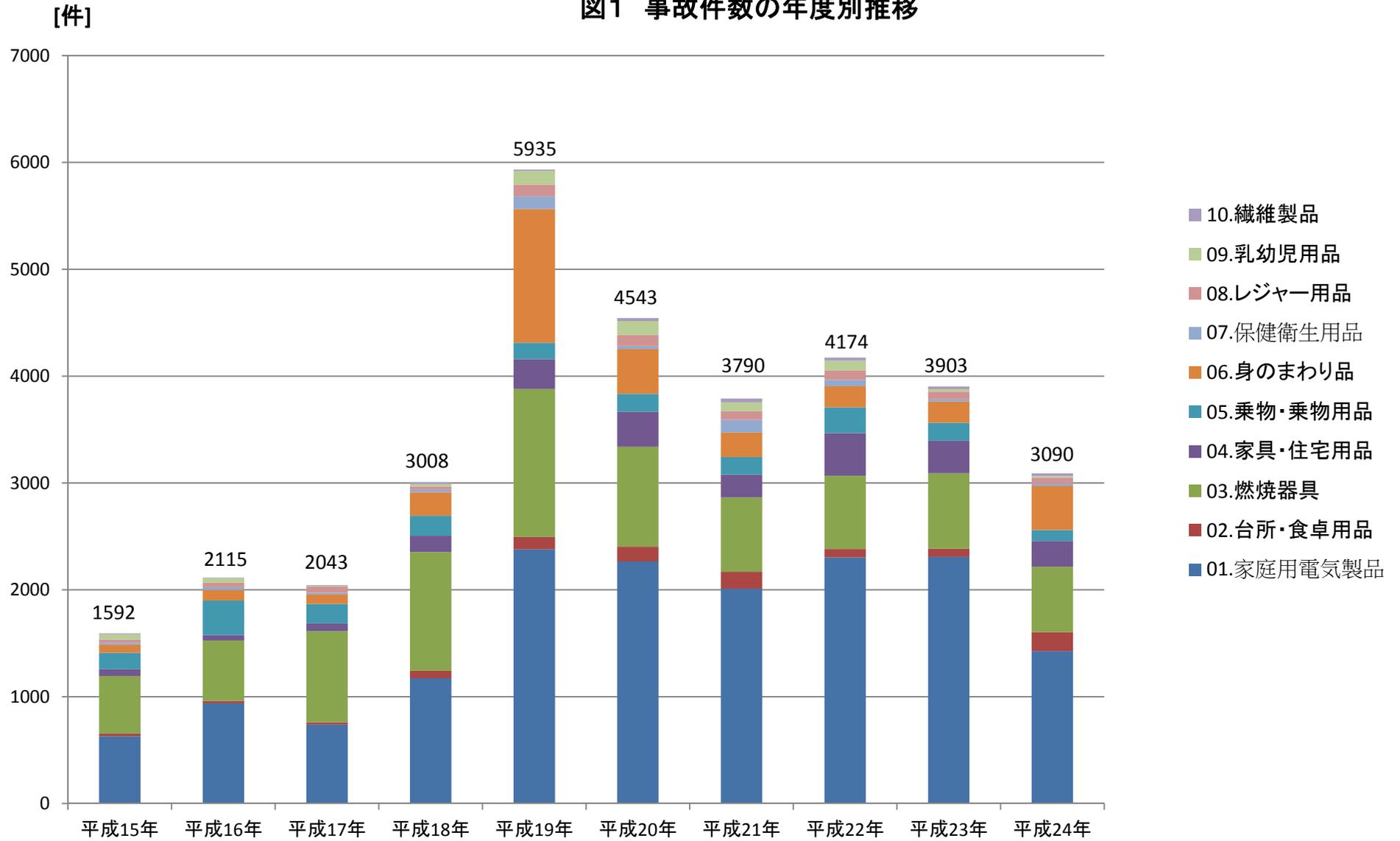


表2 製品区分別被害状況

平成24年度  
[件]

製品区分	被害状況			人的被害の発生した事故			人的被害の発生しなかった事故		
	合計	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし		
01.家庭用電気製品	1,427 2,308 2,303	16 16 10	33 26 25	100 91 141	483 443 506	779 1,671 1,604	16 61 17		
02.台所・食卓用品	177 78 79	0 0 0	9 8 8	104 26 39	12 5 5	46 37 26	6 2 1		
03.燃焼器具	612 705 686	17 20 16	25 15 17	60 93 88	196 239 268	299 316 280	15 22 17		
04.家具・住宅用品	242 304 399	8 19 13	64 56 79	81 89 109	19 52 34	68 83 162	2 5 2		
05.乗物・乗物用品	101 168 241	7 5 8	40 58 57	29 61 114	5 0 2	17 38 57	3 6 3		
06.身のまわり品	413 199 198	1 1 0	38 24 26	50 77 81	25 37 19	297 53 65	2 7 7		
07.保健衛生用品	23 20 59	1 2 0	5 8 1	9 8 52	1 2 5	7 0 1	0 0 0		
08.レジャー用品	56 74 90	0 0 0	9 17 14	17 22 51	0 0 3	28 34 20	2 1 2		
09.乳幼児用品	14 22 90	0 0 0	3 1 4	9 16 45	1 0 22	0 5 19	1 0 0		
10.繊維製品	25 25 29	0 0 0	3 1 0	19 13 15	0 1 1	1 1 4	2 9 9		
11.その他	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0		
総計	3,090 3,903 4,174	50 63 47	229 214 231	478 496 735	742 779 865	1,542 2,238 2,238	49 113 58		

(注)1. 被害状況については、製品の問題の有無を問わずにみた件数である。

2. 重傷とは、全治1か月以上のけがをいう。

3. 拡大被害は、製品以外に他の物的被害に及んだものをいう。

4. 各欄内の数値は(平成24年度、平成23年度、平成22年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の被害状況を集計したものである。

表3 製品区分別事故原因

平成24年度  
[件]

事故原因 製品区分	A:専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	B:製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの	C:製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	G3:製品起因であるが、その原因が不明のもの	D:業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	E:専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	F:その他製品に起因しないと考えられるもの	G1、G2:原因不明のもの	重大製品事故	[小計]調査が終了したもの	H:調査中のもの	合計
01.家庭用電気製品	261 1,034 1,223	7 29 15	12 21 65	50 428 226	9 31 25	59 126 172	38 85 83	63 205 158	110 331 331	609 2,290 2,298	818 18 5	1,427 2,308 2,303
02.台所・食卓用品	90 28 24	0 15 5	1 0 0	0 2 1	0 0 0	12 7 15	2 2 4	14 19 25	2 3 5	121 76 79	56 2 0	177 78 79
03.燃焼器具	6 26 25	1 0 3	5 21 21	1 9 10	10 24 25	104 238 285	29 99 101	90 173 89	35 108 124	281 698 683	331 7 3	612 705 686
04.家具・住宅用品	28 90 72	0 4 6	0 0 1	13 37 136	1 8 10	22 59 74	10 35 28	9 40 35	9 25 35	92 298 397	150 6 2	242 304 399
05.乗物・乗物用品	3 41 35	1 11 21	0 0 0	1 2 7	2 8 19	7 10 23	14 29 31	14 35 71	11 28 33	53 164 240	48 4 1	101 168 241
06.身のまわり品	45 101 87	2 2 3	1 0 1	1 11 8	0 0 0	5 15 19	15 20 21	12 35 51	5 15 8	86 199 198	327 0 0	413 199 198
07.保健衛生用品	8 2 6	0 0 14	0 0 0	0 0 21	0 0 0	1 1 1	1 6 7	1 4 8	4 6 2	15 19 59	8 1 0	23 20 59
08.レジャー用品	2 33 16	0 3 14	1 2 2	1 0 0	0 0 0	16 6 20	4 7 4	17 11 24	1 12 10	42 74 90	14 0 0	56 74 90
09.乳幼児用品	0 7 63	0 9 5	0 0 0	0 0 1	0 0 0	5 1 14	1 1 1	1 2 3	0 1 2	7 21 89	7 1 1	14 22 90
10.繊維製品	2 13 9	0 0 0	0 0 0	0 2 0	0 0 0	0 0 0	3 6 7	0 4 13	0 0 0	5 25 29	20 0 0	25 25 29
11.その他	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
合計	445 1,375 1,560	11 73 86	20 44 90	67 491 410	22 71 79	231 463 623	117 290 287	221 528 477	177 529 550	1,311 3,864 4,162	1,779 39 12	3,090 3,903 4,174

(注)1. 各欄内の数値は(平成24年度、平成23年度、平成22年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の事故原因を集計したものである。

2. 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表4 事故原因別被害状況

平成24年度  
[件]

事故原因	被害状況 合計	人的被害の発生した事故			人的被害の発生しなかった事故		
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	被害なし
A: 専ら設計上、製造上又は表示等に問題があったと考えられるもの	445 1,375 1,560	0 1 0	0 1 0	126 113 193	21 60 116	290 1,136 1,238	8 64 13
B: 製品自体に問題があり、使用方も事故発生に影響したと考えられるもの	11 73 86	0 0 0	0 0 1	4 33 65	2 7 4	5 32 15	0 1 1
C: 製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したものと考えられるもの	20 44 90	0 0 0	0 1 0	0 4 2	5 6 10	14 31 76	1 2 2
G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの	67 491 410	0 0 0	0 0 0	6 7 30	13 59 55	48 423 324	0 2 1
D: 業者による工事、修理又は輸送中の取り扱い等に問題があったと考えられるもの	22 71 79	0 1 1	0 8 4	2 17 21	7 26 27	13 19 26	0 0 0
E: 専ら誤使用や不注意な使用方法と考えられるもの	231 463 623	3 11 14	17 42 62	54 110 165	70 169 214	76 120 149	11 11 19
F: その他製品に起因しないと考えられるもの	117 290 287	7 26 15	37 74 62	18 54 64	42 94 101	11 36 39	2 6 6
G1、G2: 原因不明のもの	221 528 477	2 2 3	1 2 6	52 119 162	32 90 81	125 290 209	9 25 16
重大事故	177 529 550	5 19 14	31 80 95	3 31 30	83 255 251	55 144 160	0 0 0
[小計]調査が終了したもの	1,311 3,864 4,162	17 60 47	86 208 230	265 488 732	275 766 859	637 2,231 2,236	31 111 58
H: 調査中のもの	1,779 39 12	33 3 0	143 6 1	213 8 3	467 13 6	905 7 2	18 2 0
合計	3,090 3,903 4,174	50 63 47	229 214 231	478 496 735	742 779 865	1,542 2,238 2,238	49 113 58

(注)1. 各欄内の数値は(平成24年度、平成23年度、平成22年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき事故原因別の被害状況を集計したものである。

2. 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表5 製品区分別再発防止措置等の実施状況

(製品に起因する事故) 平成24年度  
[件]

製品区分	発防止措置の実施状況			製品の交換、部品の交換、安全点検等を行ったもの	製品の製造、販売又は輸入を中止したもの	製品の改良、製造工程の改善、品質管理の強化等を行ったもの	表示の改善、取扱説明書の見直し等を行ったもの	政府、団体、事業者等の広報等により消費者に注意を喚起したもの	被害者への措置、損害賠償、製品交換等、個別的な措置												
	措置実施件数																				
01.家庭用電気製品	311	1,390	1,394	252	805	794	132	111	137	201	116	1,109	33	399	154	254	1,158	1,152	75	765	1,066
02.台所・食卓用品	89	42	27	86	17	1	0	23	3	3	30	22	1	16	9	86	9	3	4	14	18
03.燃焼器具	32	57	74	25	35	57	0	0	7	10	24	19	5	1	2	27	46	65	17	27	42
04.家具・住宅用品	44	134	229	30	125	180	32	153	292	26	70	87	2	12	33	31	104	185	41	75	191
05.乗物・乗物用品	11	69	70	7	46	65	0	14	15	3	39	38	1	12	7	7	33	48	7	31	57
06.身のまわり品	48	106	90	39	75	79	18	22	11	17	71	53	6	21	3	29	62	51	40	54	49
07.保健衛生用品	12	2	43	7	1	40	8	2	52	3	1	24	5	0	3	7	1	39	6	1	24
08.レジャー用品	3	43	30	2	39	9	0	1	2	1	17	15	2	4	18	2	38	22	1	28	22
09.乳幼児用品		16	71		5	16		6	3		10	79		5	4		7	54		13	32
10.繊維製品	1	13	9	2	7	6	0	2	5	1	14	15	0	2	1	1	8	5	1	7	6
合計	551	1,872	2,037	450	1,155	1,247	190	334	527	265	392	1,461	55	472	234	444	1,466	1,624	192	1,015	1,507

(注)1. 収集された事故に関して複数の措置が取られたものは、措置ごとに集計した。

2. 各欄内の数値は(平成24年度、平成23年度、平成22年度)に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の再発防止措置等の実施状況を集計したものである。

3. 個別措置のみのものを除く。